

《拓の会ニュース》

Vol.02

■拓の会例会予定（8月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

- 第1G** ■日 時： 8月19日(水) 19:00～21:00 ■テーマ： 役立つFPに成るには!!
 ■会 場： 同友会会議室またはZOOM参加 ■話題提供者： FP山崎増美事務所 代表 山崎 増美 氏
- 第2G** ■日 時： 8月5日(水) 19:00～21:00 ■テーマ： 『新型コロナウィルスと労働安全衛生法』
 ■会 場： 同友会会議室またはZOOM参加 ■話題提供者： (有)労災防止センター 取締役社長 佐々木 賢一 氏
- 第3G** ■調整中
- 第4G** ■日 時： 8月20日(木) 19:00～21:00 ■テーマ： 『7月例会を振り返り、自社の取組みや悩みを話し合おう』
 ■会 場： 同友会会議室またはZOOM参加 ■話題提供者： 参加者全員

■拓の会例会報告（7月）

<第1グループ>

『侃々諤々』グループ

- 日 時： 7月15日(水) 19:00～21:00
 ■場 所： 同友会会議室・ZOOM参加
 ■テーマ： 【社風改善・会社らしい会社に】
 ■話題提供者： (有)谷工務店 専務取締役 谷 幸成 氏

【感想・報告】 参加者：15名

(有)谷工務店は、谷専務の父親が創業し、創業時より技術力・信用力が有り年間120の現場をこなす業界十勝トップクラスの会社です。

谷さんは、社会人として東証一部企業に就職し社会人経験を積んで来られました。十勝に戻られ(有)谷工務店入社。父親の会社で目にした事柄が社風改善に取組があったきっかけだったそうです。谷専務は、社風改革に立ち上がり、先ずテブラ・ホワイトボードを購入し作業予定表など作成。現在では当たり前であるが、PC購入、日曜日は休み、2ヶ月に一回の飲み会（効果大）委員会活動導入、朝礼を行い「ありがとう、感謝、喜び、応援」を伝えコミュニケーションを深めて行ったそうです。ありがとう等を、LINEスタンプの様な物を作成しポイントを競い合っているとの事。更に、当時は当たり前で有った季節雇用を止め、通年雇用に変更したそうです。最初は社員から抵抗も有ったが現在は会社の売り上げも増、社員の収入も増、固定費が増え会社の利益は増えていないそうです。しかし家は、持ち家を所有する人はいなかったが、現在は持ち家所有者もあらわれたそうです。「職場改善の表れ」。現在職場の雰囲気は、あいさつが行き交い笑顔の多い職場になったそうです。しかし東証一部企業に働いていた谷さんにとっては、やっと普通の職場になり、これからが職場改善スタートで有り、これから更に(有)谷工務店を進化させていく意気込みを谷専務から感じ取れました。

記 録： 尾藤氏



<第2グループ>

『職場環境改善』グループ

- 日 時： 7月2日(木) 19:00～21:00
 ■場 所： 同友会会議室
 ■参加者： 5名
 ■テーマ： 『コロナ禍の中 企業経営について ～BCPを今一度～』
 ■話題提供者： リプラス(株) 帯広オフィス 知地 亮治 氏

【感想・報告】

今年度1回目の発表。コロナ禍の中、企業としてどのように対応したら良いのか？と言う観点から、BCP（事業継続計画）とは？をテーマに、リプラス(株)の知地さんにお話しいただきました。リプラス(株)で取り入れている例などをお聞きし大変勉強になりました。後半の方では、保険についての質疑応答等もあり、日頃疑問に思っていること等がスッキリしたのではないのでしょうか。皆さん、充実した時間になったと思います。

記 録： 高橋氏

<第4グループ>

『社員が辞めない会社作りを考える』グループ

- 日 時： 7月9日(木) 19:00～20:00
 ■場 所： 同友会会議室・ZOOM参加
 ■参加者： 10名
 ■テーマ： 『働き方改革への取り組み事例を学ぼう』
 ～ 各社の取組みを知り、自社に活かせるヒントを掴もう ～
 ■話題提供者： 一般社団法人ちっぴず 代表理事 及川抄織 氏
 (株)つながり 代表取締役 北村直也 氏

【感想・報告】

昨年同会にて開催された『働き方改革』の学びから、話題提供者である2社の取組みを発表・質疑応答の流れで進行

■及川さんの取組み

会社の成長により働く人たちが増えてきた中、小さなトラブルが続出していた。その背景から、就業規則・ルール作り・成文化に取り組み、働きからのいろはとして纏め既存従業員・新規採用者に細かく説明することで定着率が上昇し、職場環境改善に繋がっている。従業員との面談等、細かくコミュニケーションを取ることで人を見る目が養われた。また約束事を示すことは人が増えれば増えるほど欠かせないものである。

■北村さんの取組み

本人の思いをカタチにして文章化していたが、『働き方改革』施行により作り直しの決意、会社の方向性を明確にする取組みを行った。従業員に対して、経営方針→社員の姿勢(経営者の思い)→経営理念→経営方針の流れで1人1人に対して丁寧に説明し、実行していくためのルール成文化等を作り上げた。その効果は半年後には出始めてきており、残業時間が減少しつつ、売上が増加した、社員意識・定着率が向上等、良い流れで仕事が出来ている。

及川さんが元々作成していたものを、北村さんが参考に作り上げ、また今回の発表の中で、お互い更に得るものがあり、修正等を加えていく話があった。『学びから実践へ』はまさにこの事である。また二人に共通していたのが、働き方改革が、改めて、自らの事業・仕事の仕方・成長発展のために見直す機会であったということ。働き方改革を進めていくために、一度立ち止まり、整備し、従業員に対してしつこい位に伝えていくことが重要であることを学んだ。

<第3グループ>

『とかちの観光を考える会』グループ

- 日 時： 7月30日(木) 19:00～21:00
 ■場 所： ロマンスペーカーリー
 ■テーマ： パン作りを通じて十勝の食・観光について考え、
 討論する会。
 ■話題提供者： ロマンスペーカーリー 代表 末永 喬哉 氏

【感想・報告】 参加者：9名

町のパン屋さんですが特別に貸し切りをさせていただいてパンを焼いて頂きました。当初はパン作りのワークショップなどもご用意いただく予定だったのですが気温が暑く急遽メニュー変更となってしまいました。パンと付け合せの料理も作って提供頂きました。

小さな店内ですがお客様との距離感が近く、「お客様のロマンスをパンにする」という想いが店名に込められているとおり、お客様の要望でオリジナルパンを焼いたり、地域のお子様と一緒にパンを焼いたり、今は週4日の営業が限度と仰っていましたが、試行錯誤しながらもパンを通してお客様と楽しみながら営まれている事を教えて頂きました。実際の商品であるパンやその値段、営業内容については参加者より様々な意見が聞かれましたが素朴で暖かみのある店主の気持ちが伝わるパンだったのかなと皆様のアンケートを振り返り感じました。

記 録： 津田氏

